

# 鳥取県青少年育成アドバイザー

協議会通信 No.80 since 1994

鳥取県青少年育成アドバイザー通信 80号  
発行 鳥取県青少年育成アドバイザー協議会  
発行日 令和元年7月11日  
編集 植嶋しのぶ

令和元年より、鳥取県青少年育成アドバイザーは新体制となり、新会長のもとで新たな出発です。よろしくお願いたします。

顧問 : 山本 邦彦  
会長 : 西浦 公子  
副会長 : 万木 秋弘  
副会長 : 西上 洋治  
事務局長 : 新川 裕二  
監査 : 芳村 恵子  
監査 : 井上 廉女  
幹事 : 東 邦子  
HP担当 : 清水 成真  
広報担当 : 植嶋 しのぶ



第23回全日本アドバイザー連合会および中四国大会総会が終わりました。

参加された山本顧問、西浦新会長のお2人から、大会当日の様子を報告していただきました。



## 「中四国総会と全国大会総会・研修会に参加して」

会長 西浦 公子

会場: 広島県福山市 ツネイしまなみビレッジにて

○令和元年度中四国ブロック

青少年アドバイザー連合会 総会

6月22日(土) 14:00~16:30

議案は原案通り可決し、次のとおり決定しました。

・令和元年度中四国ブロック研究集会

場所 徳島県

日時 令和元年9月7日(土)~8日(日)

・次年度以降の研修会開催県

令和2年…島根県 令和3年…香川県

令和4年…鳥取県



○令和元年度第23回全日本青少年育成

アドバイザー連合会総会ならびに研究集会

6月23日(日): 総会

議案は原案通り可決し、次のとおり決定しました。

・令和2年度の総会・研究集会(予定)

日時 令和2年6月21日(日)~22日(月)

兵庫県神戸市垂水区舞子町

シーサイドホテル舞子ピラ神戸

6月24日(月)の研究集会での記念講演は、

「育成運動の課題と将来展望」~全日本アド連の現状と今後の運動方向~と題して、

全日本青少年育成アドバイザー連合会 顧問 山本邦彦氏に熱き思いを語っていただきました。

また、事例発表では、

1) 福山市における「ひきこもり支援」活動について

広島県青少年アドバイザー協議会

上村脩氏

~ひきこもり支援とは、「今の状態から抜け出したい。でも、どうすればいいかわからない」状況から、周囲の大人の関わり(普通の人間関係を築き、心を通わせる関わり)を持つことによって、就労に携わる。しかし、これ

## 「第23回全日本アドバイザー連合会 広島大会 開会あいさつ」

顧問 山本 邦彦

皆さん、こんにちは。新しい「令和」の時代が始まりました。美しく、心を寄せ合い、一人ひとりが希望の花を大きく咲かせる時代に…との願いが込められています。

私達、全日本アド連は、第一回の結成大会を平成9年9月に元広島県アド連会長の山元利成さんを初代会長として運動を開始しました。

この今は亡き初代会長の地で、第23回大会を開催するにあたり、全国各地から集まってくださった皆様に心から感謝の誠を捧げますと共に、この姿を諸先輩の皆様に報告しながら、結成当初の初心に帰り、新しい「令和」の時代を担うにふさわしい青少年の育成運動を進めなければならないと決意を新たにしている所でございます。

この大会を開催するにあたり、昨年から多忙な中に時間を割いて、ご準備頂きました広島県の同志の皆さん、心から感謝を申し上げます。

早いもので、私が会長に就任させていただいて、丸4年が経過しました。その間、様々なご課題を頂いて参りました。

まずはマンネリ化した育成運動を見直し、我々が目指すべき「新しい旗」を建てる事。それが、「ありがとう100回運動」であり「子どもが伸びるチャンスを活かす運動」の提唱・推進であります。

第2にアド運動が目指すものを再確認して、周囲に理解して頂けるよう自ら行動すること。これが、国民会議の結成宣言を引用して、我らの基本目標を確認し、青少年を取り巻く社会や青少年の現状を理解することです。

第3に何と言っても後継者の養成を図ること。それが、一杯の不安を抱えながらも、中央研修による養成講座を継続実施し「ゆめ基金」を導入し、各県でも入門講座を開催してきたことであります。昨年度は念願であった私たちの必携の書、アド養成テキスト「子ども若者と共に」の刊行も実現しました。

はゴールではなく、働くことで収入を得て、様々なことを体験し視野を広げる。周囲の人とともに楽しんで毎日を生きることが「自立」と言うこと。そのとき、辛いこと、うまくいかなかったときにいつでも相談できる人が近くにいることを知ってもらうこと。～

2)けん玉によるやる気づくり

広島県青少年アドバイザー協議会

今田弘武 氏

～けん玉は、やる気・ねばり・遊び心・集中力・挑戦力 etc を引き出す脳のトレーニング。すべての道はけん玉から…。けん玉は、体全体を使っての遊びなので、健康によい。上達するコツは人に教えること。沢山のひとと心を通わせて、己の心と技を磨く遊び。～

オマケ

会場を飾っていたのは、  
杉原 潔さんのバルーンアート。

入り口には大きなバルーン人形2体。

会場のあちこちに、様々なバルーンが飾られていて、癒やされました。

山本会長の退任には生の花束と共に、バルーンの花束も添えられていました。



続いて、全日本アドバイザー連合会広島大会での山本顧問の熱い「開会あいさつ」をご紹介します。

なお、研究集会での記念講演「育成運動の課題と将来展望」～全日本アド連の現状と今後の運動方向～は、次回の鳥アド通信にて掲載させていただく予定です。お楽しみに！

第4に組織の活性化を図るために、情報のパイプを太くして、共有し、切磋琢磨しあうこと。それが、内閣府の子ども・若者白書に育成ボランティア団体として掲載して頂いたり、HPやグループメールを開設し、アド連だよりを継続して発行し、会員バッチや名刺をつくり、紹介パンフレットやシール・のぼり旗をつくり、活用をお願いした事であります。

第5に県民会議と連携して国民運動の再興をはかること。全国県民会議連合会との連携や、法律制定要望などとんでもないご批判をいただきながらも「青少年健全育成基本法」の制定要望運動に取り組み、全国議員へ要望書を提出したり、昨年度は地方議会への陳情に取り組んだのも、この為であります。

私は、これらの課題は、確実に前進しつつあると考えております。

この広島大会で、これら一連の運動を振り返りながら、新しい「令和」の時代をつくるにふさわしい育成運動の構築について、ご審議をお願いします。私達も精魂を込めて、長い時間を掛けて議案を作成致しました。どうか、忌憚のないご意見をいただき、次の執行体制へ受け継ぎ、より一層青少年育成運動が発展する総会となりますよう、お願いして開会のごあいさつと致します。

よろしくお願い致します。



全日本アドバイザー連合会 山本 邦彦 会長  
多大なるご活躍お疲れさまでした。  
次を「峠 新会長」に託して…



1997年（平成9年）からの長きにわたり、のべ79号のアドバイザー通信を発行してこられた芳村さんからのメッセージです。

芳村さん長い間ありがとうございました。

## お蔭様の20年



芳村恵子

鳥取県青少年育成アドバイザー通信を長い間担当させて頂き、本当に有難うございました。

思い起こせば、20年前、まだまだ新米会員だった頃に役割を頂きました。当時の会長の高橋さんより新聞作りのノウハウを教わりました。B4用紙のレイアウトや読み手の視線の流れに沿った改行の仕方など、ワープロを駆使しながら多くの経験をさせて貰いました。内容チェックも、ファックスと電話のやり取りで時間もかかりました。

その内に、A4用紙に代わり、パソコンを使って手軽に作成できるようになりました。皆様の原稿をいの一番に読ませて頂き、それに見合ったイラストを探すのも楽しみになりました。普段の例会では分らない、それぞれの人となりに触れることもできました。途中、仕事で活動に参加できない時期もありましたが、通信を担当していたお蔭で、アドバイザーの一員として居られたと思っています。

家庭でも学校でも地域でも、自分の役割がある事はとても大きな強みになります。我がアドバイザーの取り組みの「子どもが伸びるチャンスを活かす」ように、私もアドバイザー通信を通して、伸びるチャンスを頂きました。この間、何かとお忙しい中で快く原稿を送ってくださり、支えてくださった皆様に感謝の気持ちでいっぱいです。

この魅力ある役割を長い間独り占めにしていたのですが、この度フレッシュな方にバトンタッチすることになりました。

これからは、郵便屋さんのバイクの音を楽しみに待っています。



### ～編集後記～

「えらいことを引き受けてしまった…」と後悔の日々。20年間も編集に携わってこられた先輩からのバトンを、とてもとても「ノー」とは言えず受け取ってしまいました。とりあえず1年がんばってみよう、と思いながらアドバイザー通信第1号から読ませていただきました。代々のアドバイザーメンバーの方々の熱い想いとご活躍が伺えます。こんな熱い想いを「紙面」で永久に残していくのは大切なことだと思いつくづきます。みなさま、書いて残しましょう。どうか原稿をよろしく願います（これまでの原稿提出がほんとうに遅い私がこんな事を言って申し訳ありません、お許しを）